

ガイド

支柱とベース

スピーカーをテーブルに置く場合、ベースとスピーカーの支柱を組み立てるのが一番簡単です。

テーブルと支柱に傷が付かないように、組み立てる前にテーブルに包装用発泡材を当ててください。

BeoLab 6000 スピーカーには、組み立てに必要な以下の部品が付属されています：

六角レンチ x 1 個

ネジ x 3 本 (各スピーカーごとに)

ベースプレートのフックをスピーカー支柱の底部にある 2 つのガイドピンに合わせます (ベースプレートを落とさないように注意してください!)

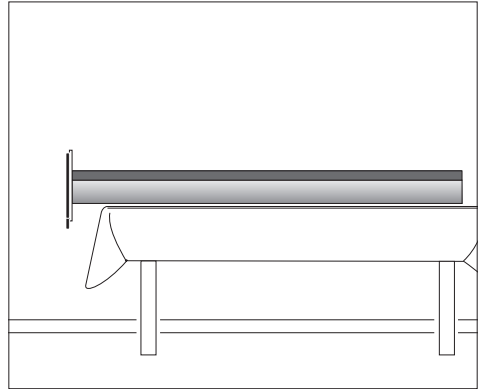
3 本のネジを取り付けて、六角レンチでしっかりと締め付けます。

設置

BeoLab 6000は、狭いスペースにも設置できます。室内のレイアウトと最も調和する場所、お好みのリスニングポジションに合わせた位置に置いてください。

なお、設置場所を決めるときに、スピーカーは常に電源コンセントにつないでおく必要があることを忘れないようにしてください!

BeoLab 6000 は、乾燥した環境で使用するように設計されています!



スピーカーを組み立てた後、スピーカーをオーディオまたはビデオシステムに接続します。接続し終えてから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

BeoLab 6000 の電源コネクタは、スピーカーの底部にあります。本書の図およびスピーカー底部の表示を参考にしてください。

Bang & Olufsen 製品への接続

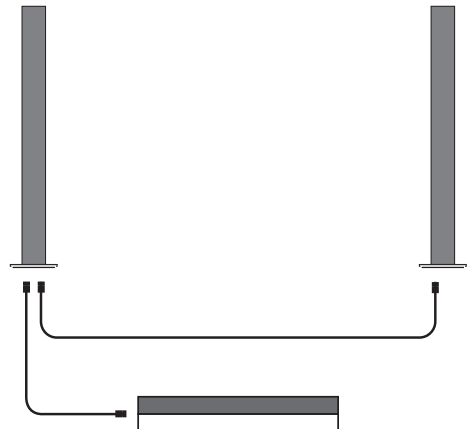
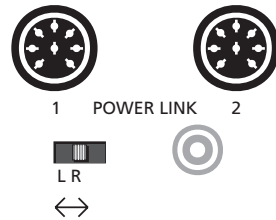
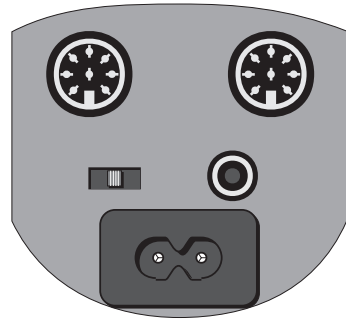
BeoLab 6000 を Beomaster/Beovision に接続する場合、付属の8ピン Power Link ケーブルを使用してください。ケーブルの片端のプラグを BeoLab 6000 の電源コネクタ部分にある2つの Power Link 端子のどちらかに差し込みます。もう一方の片端のプラグは、Beomaster/Beovision の2つの Power Link 端子のどちらかに差し込みます (Beomaster/Beovision のセットアップガイドを参照してください)。

スピーカーと Beomaster/Beovision を接続した後、L・R・LINEと表示されたスイッチをLまたはRにセットします:

- L は、左側スピーカー
- R は、右側スピーカー

図のように、Power Link 端子を使って左右のスピーカーをつなぐと、1つのスピーカーから1本のケーブルで Beomaster/Beovision に接続できます。左右のスピーカーを、別々に Beomaster/Beovision の2つの Power Link 端子に接続することもできます。

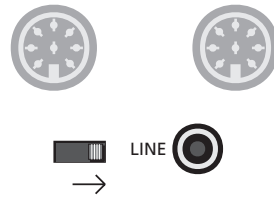
各システムには、BeoLab 6000スピーカーを1セット以上 (最大10セットまで) 接続できます。スピーカー間の接続は、Power Link ケーブルでつなぐだけです。左右のスピーカーに対して、L・R・LINE スイッチを正しくセットしてください。



Bang & Olufsen 以外の製品への接続

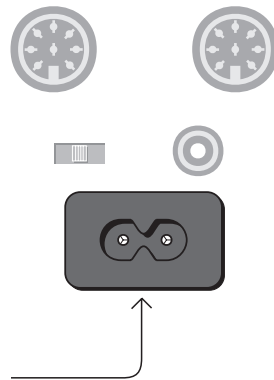
BeoLab 6000 を Bang & Olufsen 以外の製品に接続する場合、Power Link 端子の代わりに、LINE と表示された Phono 端子を使います (例えば、部品番号 6270595 ケーブル使用)。

BeoLab 6000 と Bang & Olufsen 製品以外のシステムを接続した後、L・R・LINE と表示されたスイッチを図のように LINE の位置にセットしてください。

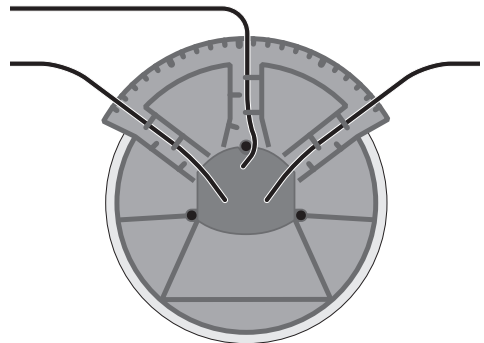


電源コンセントへの接続

BeoLab 6000 は、付属の電源コードを使ってコンセントに接続します。



BeoLab 6000 のケーブルは、スピーカーの底部プレートの後方にあるケーブルガイドに通します。

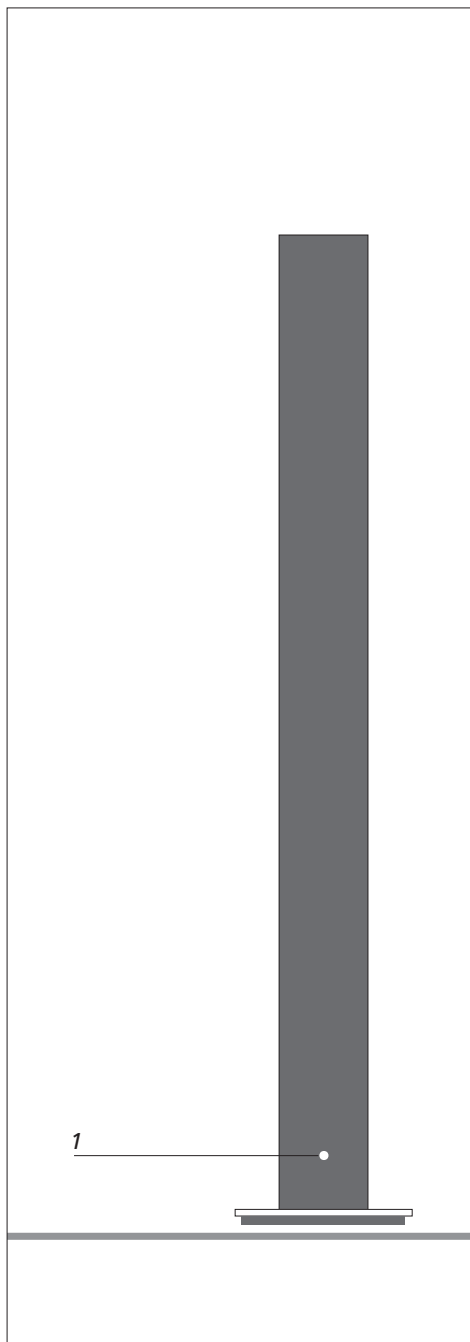


BeoLab 6000 を電源に接続すると、正面の小さなライトが赤色点灯して、スピーカーはスタンバイ状態となります。

Bang & Olufsen オーディオシステム (またはビデオシステム) の電源を入れると、BeoLab 6000 スピーカの電源も同時に入り、赤色のスタンバイライトが緑色に変わります。

システムの電源を切る、またはサウンドをミュートにすると、スピーカーの電源が切れ、ライトは赤色に変わります。

Bang & Olufsen 製品以外のシステムを BeoLab 6000 スピーカの Phono 端子 (LINE) を使って接続している場合、システムからの信号を受信すると電源が入ります。システムの電源を切ると信号が消え、しばらくするとスピーカーの電源が切れます。



1. スピーカーの電源が入ると、赤色のスタンバイライトが緑色に変わります

BeoLab 6000 スピーカは、柔らかい布を、台所用の中性洗剤などを数滴入れたぬるま湯に浸し、しっかり絞ってから拭いてください。



注意! BeoLab 6000スピーカーのお手入れには、アルコールやその他の溶剤は使わないでください。

本装置は、EEU 規定89/336 および 73/23 に適合しています。

